

広瀬振興会除雪奉仕隊 (江刺広瀬地区)

広瀬振興会では、各行政区に除雪奉仕隊員を配置することで、気心の知れた関係性を活かした支援を行っています。

基本情報

| | | |
|----------|--|---|
| 代表 | 除雪奉仕隊長：菊池 ^{ちよし} 千吉さん（社会福祉部長） | |
| 役員 | 隊長：社会福祉部長 副隊長：行政区長会長 班長：民生委員4名 事務局長：社会福祉部事務局長 | |
| 窓口 | 広瀬地区センター：菊池 ^{まさこ} 真佐子さん（地域活動員） | |
| 活動内容 | 除雪支援 | |
| 活動エリア | 広瀬地区全域 | |
| 活動日時 | 依頼を受けた後、支援者が活動できる時 | |
| 支援対象者 | 対象者 | 高齢者世帯、障がい者 |
| | 把握・周知方法 | <令和元年12月以降> 令和元年：民生児童委員が高齢者・障がい者の方に除雪についてのお知らせを配布し周知 令和2年以降：広瀬振興会発行の広報誌に除雪支援について掲載し周知 |
| 支援者 | 支援者 | 行政区長・民生児童委員・社会福祉部委員 一般加入者（集落ごとに1～4名配置） |
| | 支援者数 | 36名 |
| 対象者利用料 | 無し | |
| 会則 | 有り（広瀬振興会除雪奉仕隊設置規定） | |
| 支援者への謝礼等 | 活動時間1時間当たり：1,000円 個人所有の除雪機使用の場合は、プラス1回500円 | |
| 財源 | 広瀬振興会社会福祉部のボランティア活動費 | |
| 保険 | 自治会活動保険 | |



活動の経緯

| 時 期 | 内 容 |
|---------------------|--|
| 平成 20 年 12 月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人岩手県共同募金会（赤い羽根共同募金）の助成事業により地区センターに除雪機 1 台を設備 ・ 社会福祉部で除雪の支援者を募集 隊員構成：振興会役員、行政区長、民生児童委員 社会福祉部役員、地区住民（手上げた数名） |
| 平成 25 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 除雪支援者の高齢化に伴い登録継続の可否を確認 |
| 令和元年 12 月 (大雪の年) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 改めて組織の必要性を求められ再編 ・ 隊員の増員：各行政区に一般加入の支援者を配置 ※一般加入支援者は、区長・民生児童委員が“この人”という人に声掛け・依頼をし、個人所有の除雪機も活用 ・ 除雪支援は、支援対象者の庭先が分かることから同集落内を基本としたが、場合によっては集落をまたぐこともある |

活動について

【生活に必要な玄関～主要道路に出るための道を確保】

- 高齢者世帯等からの依頼による除雪（2人以上で対応）
- 申し訳ないからと依頼の電話をしない高齢者もいるため、降雪の状況により様子伺いを兼ねて訪問し除雪することもある



令和 3 年度の実施状況

<令和 3 年度出動実績>

- 要請者 5 名
 出動回数 10 回（6 名）【出動時間】延べ 17 時間
 【個人機械使用】11 時間

除雪奉仕隊 作業日報

| 作業日 | 令和 | 年 | 月 | 日() | 記入者 |
|------|--------------|---------|-------|------|-----|
| 作業場所 | 行政区 | 地区名 | 要請者氏名 | | |
| 作業者名 | 個人所有機の 使用 | 作業時間 | 作業内容 | | |
| | 有・無 | 時 分～時 分 | | | |
| | 有・無 | 時 分～時 分 | | | |
| | 有・無 | 時 分～時 分 | | | |
| | 有・無 | 時 分～時 分 | | | |
| | 有・無 | 時 分～時 分 | | | |

活動への思い

- 降雪後すぐ対応できれば良いが、自宅の除雪も考えるとすぐに対応できない
- 原則として屋根からの落雪の除・排雪は行わないものとしているが、落雪が玄関先から門口への経路を塞いでしまっているケースもある
- 現状では、除雪作業前に“デイスサービスの送迎車が入れない”という相談は無いが、今後、そういうことも想定しなければならない
- 依頼件数が少ないのは、隣近所の支え合いで除雪をしていることもあるかと思う

～奥州市では地域の活動取材し、地域での支え合いを見える化してお伝えしていきます～